えひめ日本語ネットワークNEWS

第16号　2022. 7

日本語教師養成講座の終了にあたって

昨年４月８日にスタートした「日本語教師養成講座」（ヒューマンアカデミー）が今年６月２６日に終わりを迎える。苦しかった約１年３か月の勉強であった。日本語を指導する上で必要な知識と技能を学ぶ学習であった。ここで学んだことを一部紹介しておきたい。

第一に指導の仕方である。教師主導の授業から生徒主体の授業へと移行しなければならない。生徒にとって必要な生活場面を取り上げて学習するスタイルに変えねばならない。トップダウン処理（既有知識や常識などを利用して、予測・推測しながら理解していく。）の導入である。ボトムアップ方式（細かい部分から理解を深めていく。）が多かったようだ。

第二に、テキストの問題である。『みんなの日本語』（スリーエーネットワーク）を使用している生徒が世界で一番多いようだ。しかし、テキストは他にたくさんある。ボトムアップ方式では『みんなの日本語』が、トップダウン方式では『まるごと』『いろどり』等の日本語教材が妥当だと思う。それぞれの良さを理解し、活用しなければならない。

第三に、指導者は日本人としての教養をきちんと身に付けることである。生徒は様々な質問を投げかけてくる。それに適当に答えるわけにはいかない。なぜその言葉を使用しなければならないのかを「やさしい日本語」で説明しなければならない。恥ずかしながら、私を含めて、教養を備えている日本人が減っている。日本の伝統・文化の素晴らしさを教えていく指導者にならねばならない。

最後に、私が一番苦しんだのはオンライン学習であった。パワーポイントを使っての指導は、指導内容よりは機器の使い方の問題が負担だった。かなりの時間、機器の使い方を学習したが、いまだ若い者にはかなわない。「老いては子に従え」ではないが、「老いては若者に従え」。頑固な私が学んだことだ。

（大塚安彦）

ボランティア日本語教師育成講座を受講して

語学に関心があり、日本語について知りたいと思っていました。もちろん子供の頃から学校で国語の授業を受け、一通りは学んできました。でも日本語を全く知らない方たちに一から教えるとなるとどのようにするのだろうかと興味が湧き講座に申し込みました。

授業は宇野美登里先生が毎回テキストの課題に添ってとても丁寧に教えてくださいます。私たち受講者は教室の席に座り日本語学習者の立場から授業を受け、日本語の成り立ちや使い方などを学びます。その中で先生が外国の方に教える時のコツや注意点を細かく教えてくれます。

先日は日本語での数字の読み方について学習しました。例えば数字の「4」の場合。日本語では「よん」と読んだり「よ」、「し」と発音したり、使用する場面によって変わってきます。日本人は特に気にしなくても使ますが、初めて覚える方にはその規則性なども伝える必要があります。日本語教師となるにはこういった細かい事も一つずつ学んでいく根気強さも必要だなと感じています。

またテキストを使って教えるだけでなくカードや手作りの小道具などを使って学習者に学びへの興味を持ってもらう事の大切さも教えていただいています。毎回宇野先生の授業でとび出す小道具はユニークで見やすく工夫されていて日本語教師の勉強に来ているはずなのに、つい生徒になったような気分でとても楽しく授業を受けています。

受講生の皆さんはとても意欲的で毎回良い刺激をいただいています。来年の3月まで一緒に日本語教師の仕事について多くを学んでいけたら良いなと思っています。

(今西千春)

（た形）ことがある：「学びのコーナー」（2017.7）の誤用例を考える

初級の学習者の誤用文を正しく直して間違いを説明してください。

去年のお祭りにおみこしを見たことがあります。

上の誤用文は「お祭り**に**」の「**に**」と「**去年**の…見**たことがあります**」の「**去年**」（近い過去を表す言葉）と「**～たことがあります**」（経験）の使い方が間違っている。

誤用文：× **去年**のお祭り**に**おみこしを**見たことがあります**。

正しい文：○ **去年**(の）お祭り**で**おみこしを**見ました**。

「お祭り、オリンピック、運動会」などは行事・イベントを表す名詞（Ne）で、「Ne**で**＋動詞」の Ne は動作や行事の行われる場を表し、後続助詞は「で」を使う。

1. 私は去年のお祭り**で**はじめてジョンに会った。
2. 彼は東京オリンピック**で**優勝した。
3. 運動会**で**、たくさん写真を撮った。

「見たことがあります」の「**～たことがある**」は過去の経験を表す。「子どものころ、昔、前に、今までに」などと一緒に使うことが多い。「この間、先月、去年」などあまり近い時を表す言葉や「いつも、たいてい、よく」などの頻度を表す言葉とは一緒に使わない。誤用文には「**去年**」という近い過去を表す言葉があるので、「見たことがあります」ではなく「**見ました**」になる。

1. ○ **今までに**病気で入院し**たことがありますか**。
2. ○ **子どものころ**大阪に住んでい**たことがあります**。
3. × 私は**先週**東京へ行っ**たことがあります**。→ ○ 私は**先週**東京へ行き**ました**。
4. × **ときどき**ジョンに会っ**たことがあります**。→ ○ **ときどき**ジョンに会い**ました**。

（酒井美香）

学びのコーナー
～取り戻す・取り返す～

過日TVのスポーツコーナーでAチーム VSBチーム（野球）の途中経過を報じていた女性アナウンサーが「Bチームは10点差を取り戻すのは大変でしょうね」と。「ん？とり戻す？？」違和感を覚えた。以前、「取り戻す」と「取り返す」の違いについて考察した記憶を思い起こし再確認することにした。

「取り戻す」と「取り返す」は同義なのか。辞書によると

「取り戻す」：一度人に与えた物、取られた物などを再び自分の物にする。取り返す。

「取り返す」：人に与えた物、または取られた物を再び自分の物にする。取り戻す。

とある。「一度自分の手元にあった」と定義されているなら先の女性アナの描写は理に適っていない。違和感の原因も頷ける。では、「取り戻す」と「取り返す」はいつも交替可能なのか。適格性と逸脱性を例文から分析する。

父は15時間ぶりに意識を（取り戻した　？取り返した。）

美術館から盗まれた名画を（取り戻した　取り返した。）

なかなか返してくれない大切な本をやっと（取り戻した　取り返した。）

妻の闘病生活はとても長い。彼女はもう健康を（取り戻せない　？取り返せない。）

「取り戻す」「取り返す」の使用に関する相違は対象となる名詞が関わっていることに気付く。交替可能な対象か、「取り戻す」のみが適格な対象かが明確になってくる。「取り返す」のみの対象は見当たらない。

「取り戻す」：主体から分離可能なもの、不可能なものを表す名詞。

「取り返す」：主体から分離可能なものを表す名詞。分離不可能なものを表す名詞は対象にならない。（仁田説）

次に挙げる名詞は「取り戻す」、「取り戻す・取り返す」のどちらに識別できるだろうか。

お金	若さ	宝石	自信	勇気	土地
彼/彼女らしさ		領土	時間	地位	自由
情熱	平和	やる気	荷物	原稿	名誉

取り戻せても取り返せない、誤って振り込んでしまった年金は取り戻すのか取り返すのか、とかく類義語は面倒だ と 夏目漱石を気取りたくなる。

（宇野美登里）

参考文献

国語辞典　三省堂

日本語大辞典　講談社

類義語使い分け辞典　研究社

仁田義男『辞書には書かれていないことばの話』　岩波書店

友だちの輪：今どこで、何してる？

藤井宣恵さん

「えひめ日本語ネットワークNEWS」第1号から第7号まで編集を担当してくださった藤井さんが広島県福山市に転居して3年。松山市と同様に民事調停委員を、昨年10月から家事調停委員もしている。日曜日は実家を訪ね、お母さんの食事や買い物のお付き合いをしている。その上、ふくやま国際交流協会の会員として、ボランティア活動を楽しんでいるとのこと。相変わらず多方面でエネルギッシュに活動している。

日本語支援活動は「ワンペアレッスン」で公共施設で毎週1回1時間の日本語レッスンをしている。担当は、ひらがながやっと書ける程度のフィリピン女性の英語教師で、テキストは『いっぽ　にほんご　さんぽ　暮らしのにほんご教室　初級１』を使っている。

また、夏休みや冬休みには外国にルーツを持つ子どものための日本語チャレンジ教室にも携わっている。小中学生の宿題の指導が中心で、ブラジルやベトナムの子が多く、算数の文章問題や漢字の読み書きが苦手な子が多いそうだ。

藤井さんの将来の夢は日本語を通した地域貢献で、いつまでも元気にボランティア活動を続けたいと思っている。藤井さん、福山でのますますのご活躍を松山から応援しています。

レーティ タン タンさん

澤田邸にて

ベトナム出身のタンさんは松山市の食品工場で技能実習生として働きながら、2019年2月から毎週月曜日に若草日本語教室で熱心に日本語能力試験の勉強を続けた。2019年12月に見事N3 に合格。その後、埼玉に転居、食品工場で働いている。首都圏での生活を楽しんでいるようだ。日本語の勉強は特にしていないが、日常生活の中で日本語を聞いたり話したりして学んでいるとのこと。今年の 12月に帰国したら、日本語関係の仕事をしたいと思っている。タンさん、いい仕事が見つかるといいですね。

ビビアン（舒薇恩）さん

道後温泉にて

台湾出身のビビアンさんが N3 に合格したのは 2018 年 12 月。それからはコロナ禍で専ら自宅で日本語能力試験の勉強に取り組んだ。そして 2021年12月に N2 を飛び越して一気に N1 に合格。在宅学習、しかも自習で N1 に合格できるなんて夢のような話だとみんなを驚かせた。ビビアンさんの猛勉強ぶりは以下に掲載。

ビビアンさんは今も東京と福島の 3 つのボランティア団体とそれぞれ週 1回1時間ほど Zoom を使って会話と作文の練習をしている。自宅でのカラオケ、特に演歌の練習が毎日の楽しみだそうだ。

日本語の勉強に関する経験

2018年12月、若草日本語教室の先生方の熱心な指導のおかげで、日本語能力試験（N3）にほぼ満点で合格しました。それで自信がついた私は、2019年12月に N2 を受けることにし、勉強を続けました。しかし、うっかりミスで申込期限を過ぎてしまったため、2020年の 7月にチャレンジすることにしました。ところが、コロナ禍でいつも通っていた若草日本語教室をやめざるを得ず、自習を始めました。先生方の後押しもあって、私は大胆にも N2 を飛ばして、直接N1 に挑戦することにし、2021年12月に試験を受けて合格しました。

自習に関する計画はありませんでしたが、まずは興味のあることから始めました。

1. ドラマを見ること

YouTube で日本語字幕付きのドラマを観ることをずっと楽しんでいます。ただ見るだけではなく、使えそうなセリフを見かけるたびに、画面をストップして、メモをしたり、セリフの意味を探ったりして、かなり時間を費やしましたが、日本語の勉強にはとても役に立ちました。

2. アプリで遊ぶこと

最近見た記事によると、寝る前の30分は暗記のためのゴールデンタイムらしいです。そこで、いつもアプリで日本語の単語のゲームをやった後ですぐ寝ることにしています。

3. 過去問をいっぱいやること

これが最も大事なことだと思います。私は10年間（20回分）のN1の過去問を少なくとも4回はやりました。

4. 作文を書くこと

作文の練習によって文の組み合わせをもっと理解することができると思います。作文は、Zoomを利用して東京の日本語教室の先生に添削してもらいました。

5. 歌うこと

最近、日本の演歌に興味があり、よく歌っています。歌を通して、歌詞を理解し、歌手の発音を真似し、単語だけではなく、日本語のイントネーションを掴むこともできます。

他にも良い方法はまだ沢山あるでしょうが、私には、先に挙げた1～5のどれもすべてが効果的でした。

ビビアン（舒薇恩）

若草日本語教室　　日本語能力試験（N1～N5）の勉強をしませんか

＊レベル別による少人数のグループ・レッスン
＊日時　毎週月曜日　13：30～15：00
＊費用　300円（N3～N5）・400円（N1・N2）/月
　　500円/1時間と教材のコピー代（個人レッスン）
＊場所　松山市綜合福祉センター
　　松山市ハーモニープラザ

お問い合わせ　メール shaico2019@gmail.com
　　でんわ　089-946-0885（しおいり）

問い合わせ先： えひめ日本語ネットワーク事務局
Email ： ehime-nihongo@nifty.com